

都市計画道路 阿久根薩摩川内線に係る環境影響評価書に対する環境大臣意見

都市計画道路 阿久根薩摩川内線（以下「計画路線」という。）は、鹿児島県阿久根市から同県薩摩川内市までの延長約 18km の自動車専用道路であり、南九州西回り自動車道の一環として計画され、一般国道 3 号の迂回路としても期待されている。

計画路線は、鹿児島県北西部の海岸沿いの山地や丘陵地に一般国道 3 号及び肥薩おれんじ鉄道と並行して計画されており、大部分は盛土・切土構造で、河川及び鉄道を橋梁で、一部山地をトンネルで通過することとなっている。

計画路線の対象事業実施区域及びその周辺には、中小の起伏山地や火山地を利用した耕作地が点在し、海洋性の気候を基盤に豊かな自然環境を形成しており、多くの重要な動植物が生息・生育していることが確認されている。

このため、事業の実施に当たっては、環境への影響が最小限となるよう、次の措置を適切に講ずることが必要である。

1．総論

今後、環境保全措置の具体化に当たっては、これまでの調査結果や専門家等の意見を踏まえて措置の内容を十分に検討すること。また、環境保全措置の具体化について、具体化の検討を行う時期等を評価書において明らかにするとともに、専門家等の意見、検討に当たっての主要な論点やその対応方針等を適切に公表するなど、透明性及び客観性を確保すること。

2．各論

（1）騒音について

工事中の建設機械の稼働及び供用中の自動車の走行に係る騒音について、環境影響をできる限り回避又は低減するため、環境モニタリングや関係機関の調査結果の活用により状況を把握し、その結果に応じ、必要があれば、適切な措置を講じること。

（2）動物について

野生動物の移動経路の確保について

環境配慮の効果も期待されるものとなっているカルバートの設置、侵入防止の対策等の措置については、本事業の実施区域において重要とされた動物種の選好性等を踏まえ、専門家等の意見を十分に聴いた上で、可能な限り、その位置や構造等に反映させること。

重要な猛禽類の調査について

対象事業実施区域周辺に生息・営巣が確認されている重要な猛禽類について、工事着手前に加え工事中にもモニタリング調査を実施し、その結果に応じ、必要

があれば、専門家等の意見の聴取や工事時期の調整を含めた適切な措置を実施すること。

(3) 温室効果ガスについて

工事中の排出削減対策及び供用後の省エネ設備の導入等による温室効果ガスの低減に努めるとともに、本事業の供用前後における温室効果ガス排出量の変化の把握を検討すること。

また、計画路線に係る都市計画については、地球温暖化対策に係る関係地方公共団体の実行計画と連携して温室効果ガスの排出の抑制等が行われるよう配慮すること。

以上の内容及び予測・評価のために設定した対象事業実施区域の位置を評価書の補正書に適切に記載すること。

(以上)